



HP ep7100 シリーズ Home Cinema デジタルプロジェクタ ユーザーズガイド



© Copyright 2004 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

本書の記載内容は、予告なしに変更される可能性があります。HP製品およびサービスに対する保証は、当該製品およびサービスに付属の明示的保証規定に記載されているものに限られます。本書のいかなる内容も、当該保証に新たに保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書の技術のあるいは校正上の誤り、省略に対しては責任を負いかねますのでご了承ください。著作権法で許可されている場合を除いて、ヒューレット・パッカード社の事前の書面による許可なく本書の複製、翻案、翻訳を行うことは禁止されています。

オーストラリアおよび英国における消費者取引：上記の免責事項および制限は、オーストラリアおよび英国における消費者取引には該当せず、消費者の法的権利に影響しません。

Hewlett-Packard Company
Digital Projection and Imaging
1000 NE Circle Blvd.
Corvallis, OR 97330

第1版 2004年7月

目次

1 セットアップ

安全上の注意	7
同梱内容	8
主な機能の説明	10
プロジェクタ全体図	10
プロジェクタのボタンとライト	11
パックパネル	12
リモコン	13
アクセサリ	14
プロジェクタのセットアップ	15
レイアウトプラン	15
電源の接続	18
ビデオソースの接続	19
サウンドシステムの接続	25
複数のビデオソースの接続	26
コンピュータの接続	27
プロジェクタの電源のオン/オフ	28
プロジェクタの電源をオンにする	28
プロジェクタの電源をオフにする	29
プロジェクタの移動	29
基本調整	30
ソースの選択	30
プロジェクタの投影位置の調整	30
フォーカスとズームの調整	31
画像モードの変更	32

画像の形の調整	33
画像のゆがみの調整	34
音量の調整	34
2 ビデオの表示	
ビデオソースの表示	35
画像の非表示または表示	35
コンピュータの画面の表示	35
3 プロジェクタの調整	
画像とサウンドの調整	37
画像の調整	37
サウンドの調整	37
プロジェクタのセットアップの調整	38
オンスクリーンメニューの使用	38
オンスクリーンメニューを使用して設定を変更する	38
入力メニュー	39
画像メニュー	39
サウンドメニュー	41
セットアップメニュー	41
ヘルプメニュー	41
4 プロジェクタのメンテナンス	
プロジェクタのステータスを見る	43
プロジェクタのレンズのクリーニング	43
ランプモジュールの交換	44
リモコンの電池を交換する	45
5 プロジェクタの設置	
プロジェクタの設置	47
卓上に設置する	47
天井に設置する	47
背面投影用に設置する	47

ルームコントローラの接続	48
シリアル接続	48
ルームコントローラのコマンドの例	48
ルームコントローラのコマンド	50

6 問題の解決

トラブルシューティングのヒント	57
警告ライトの問題	57
始動時の問題	58
画像の問題	58
サウンドの問題	61
停止の問題	62
リモコンの問題	62
プロジェクトのテスト	63

7 サポートと保証

サポート	65
HPサポートへのお問い合わせ	65
HP修理サービスのお問い合わせ	67
限定保証	67
HPデジタルプロジェクト限定保証条項	67

8 参考情報

仕様	71
安全情報	74
LEDの安全性	74
水銀の安全性	74
規制情報	74
Japan	75
国際	76

索引

目次

セットアップ

安全上の注意



警告: 怪我および機器の損傷を未然に防ぐため、以下の注意事項ならびに本マニュアルに記載の関連情報をよく読みの上、お守りください。

- ランプが点灯しているあいだは、プロジェクタのレンズをのぞかないでください。
- プロジェクタを湿気の多い場所に放置しないでください。また水気のある場所では使用しないでください。
- 印刷用紙、プラスチック、および可燃性物質はプロジェクタのレンズや排気口から0.5m以上離してください。
- 液体、食物、小物をプロジェクタ内部に落とさないでください。万一、プロジェクタ内部にこれらのものが入った場合は、HPにご相談ください。
- プロジェクタの上には何も置かないでください。プロジェクタにかかる恐れがある場所に液体を置かないでください。
- プロジェクタの排気口をふさがないでください。ラジエータやアンプなどの熱源の近くにはプロジェクタを置かないでください。
- 製品ラベルに記載された電圧および電流定格に適合する電源コードのみを使用してください。たこ足配線を避け、コンセントや延長コードに負荷がかかりすぎないようにしてください。電源コードのアース端子は必ず使用してください。
- ケーブルを踏んだり、つまづいたりしないよう、ケーブルの配線にご注意ください。
- プロジェクタは設置スタンドが水平になるよう、固定用器具またはHP製の天井取付け器具に設置してください。プロジェクタの前面を下にして置かないでください。
- 指で直接レンズに触れないでください。43ページの「プロジェクタのレンズのクリーニング」を参照してください。プロジェクタのケースをクリーニングするときは、柔らかく乾いた布を使用してください。
- このマニュアルで指示されたとき以外はプロジェクタを開かないでください。また開くときは、プロジェクタが十分に冷却したあとにしてください。
- プロジェクタが万一破損した場合は、HPにご連絡ください。

同梱内容

プロジェクタをセットアップする前に、梱包ケースに以下の品目が入っていることを確認してください。以下のいずれかの品目が不足している場合は、HPまでご連絡ください。



梱包ケースを開いて内容物を取り出したら、プロジェクタを搬送する場合に備えて、梱包ケースを保管しておいてください。



同梱内容の説明

名称	機能
① プロジェクタ	画像を表示します。
② リモコン(単三電池2個)	プロジェクタを操作します。
③ SCART/Sビデオアダプタ	SCART対応出力ソースをSビデオまたはコンポジットビデオケーブルに接続します。
	 一部のモデルにのみ同梱されています。
④ DVI/VGAアダプタ	VGAケーブルをプロジェクタのDVIポートに接続します。
	 一部のモデルにのみ同梱されています。
⑤ ユーザーズガイドが入ったパッケージ	プロジェクタのセットアップと使用方法に関するマニュアル類が含まれます。
⑥ クイックセットアップガイド	プロジェクタを最初に使用するときの手順が記載されています。
⑦ Sビデオケーブル	Sビデオソースをプロジェクタに接続します。
⑧ 電源コード	プロジェクタを電源に接続します。
⑨ コンポジットビデオ/オーディオケーブル	RCAコンポジットビデオ出力端子が付いたデバイスを接続します。

主な機能の説明

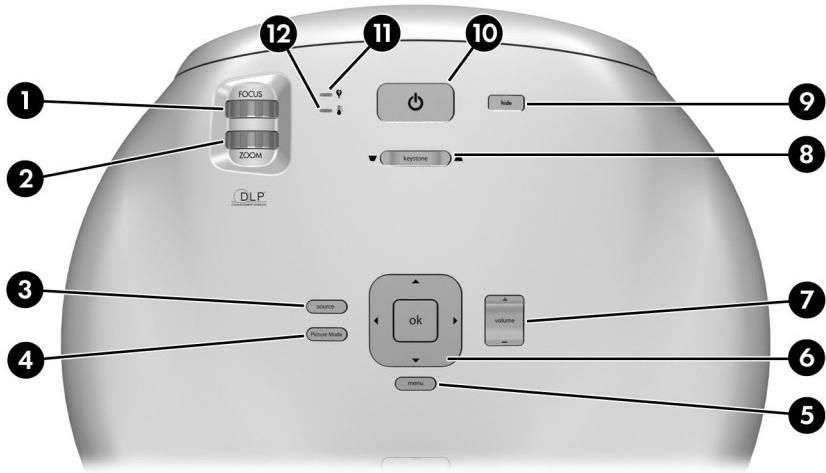
プロジェクタ全体図



主なコンポーネントの説明

名称	機能
① ボタンパネル	コントロールボタンとインジケータライトが配置されています。
② 赤外線ポート	リモコンからの信号を受信します。
③ レンズカバー	レンズを保護します。
④ レンズ	画像を投影します。
⑤ チルトレバー	プロジェクタの上下位置を調整します。
⑥ 設置スタンド	プロジェクタを安定させます。

プロジェクタのボタンとライト



プロジェクタのボタンとライトの説明

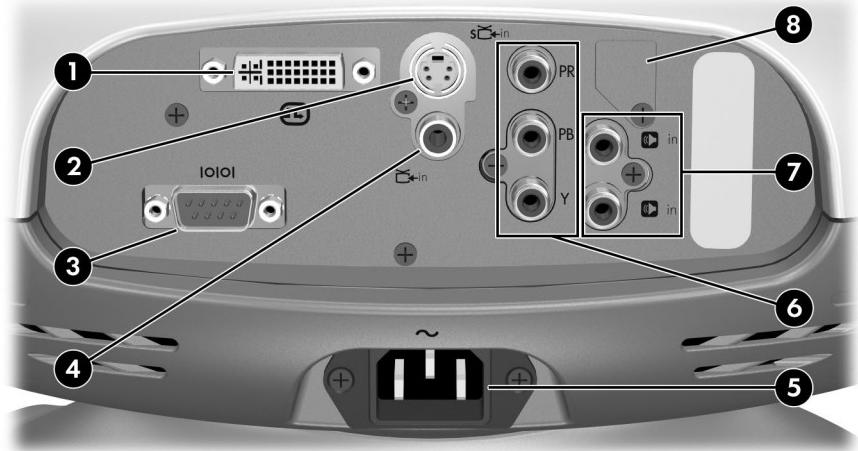
名称	機能
① フォーカスリング	投影距離を1mから10mの間で調節します。
② ズームリング	画像のサイズを100%から116%まで拡大します。
③ ソースボタン	次の入力ポートからの画像を表示します。
④ 画像モードボタン	次に投影する画像とカラー・コンビネーション(カスタマイズ可能)を選択します。
⑤ メニューボタン	プロジェクタのオンスクリーンメニューを開閉します。
⑥ ナビゲーションボタン: 上、下、左、右、ok	プロジェクタメニュー内の項目を選択します。
⑦ 音量調整	音量を上下します。
⑧ キーストーン補正	投影画像のゆがみをなくすために、画像を調整します。
⑨ 非表示ボタン	画像を非表示にして、スピーカをミュートします。

セットアップ

プロジェクタのボタンとライトの説明(続き)

名称	機能
⑩ 電源ボタン	プロジェクタの電源をオン/オフします。
⑪ ランプインジケータライト	ランプが不良のときに警告します。
⑫ 温度インジケータライト	プロジェクタが加熱したときに警告します。

バックパネル



背面パネルコンポーネントの説明

名称	機能
① DVI入力カポート	DVIビデオソースを接続します。コンピュータのビデオソースもサポートします。 一部のモデルでのみ使用可能です。
② Sビデオ入力ポート	Sビデオソースを接続します。
③ シリアルポート	ルームコントローラを接続します。 一部のモデルでのみ使用可能です。

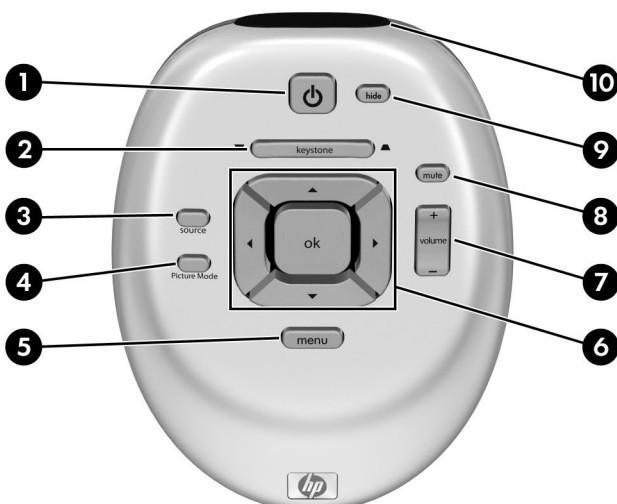
背面パネルコンポーネントの説明 (続き)

名称	機能
④ コンポジットビデオ入力ポート	コンポジットビデオソースを接続します。
⑤ 電源コードソケット	プロジェクタの電源コードを接続します。
⑥ コンポーネントビデオ入力ポート (YPbPr)	コンポーネントビデオソースを接続します。
⑦ オーディオ入力ポート	ステレオオーディオソースを接続します。
⑧ サービスポート	修理サービス専用。

リモコン



リモコンを使用する前に、単4電池2個を装着してください。45ページの「リモコンの電池を交換する」を参照してください。



リモコン各部の説明

名称	機能
① 電源ボタン	プロジェクタの電源をオン/オフします。
② キーストーン補正	投影画像のゆがみを補正します。
③ ソースボタン	次の入力ポートからの画像を表示します。
④ 画像モードボタン	次の画像とカラーコンビネーションを選択します。 カスタマイズ可能です。
⑤ メニューボタン	プロジェクタのオンスクリーンメニューを開閉します。
⑥ ナビゲーションボタン: 上、下、左、右、ok	プロジェクタメニュー内の項目を選択します。
⑦ 音量調整	音量を上下します。
⑧ ミュートボタン	サウンドをオンまたはオフにします。
⑨ 非表示ボタン	画像を非表示にして、スピーカをミュートします。
⑩ 赤外線レンズ	リモコンからプロジェクタに信号を送ります。

アクセサリ

HPプロジェクタ用アクセサリを使用すれば、より効果的なホームシアターを実現できます。アクセサリは、<http://www.hp.com> またはプロジェクタ販売店にてお買い求めください。

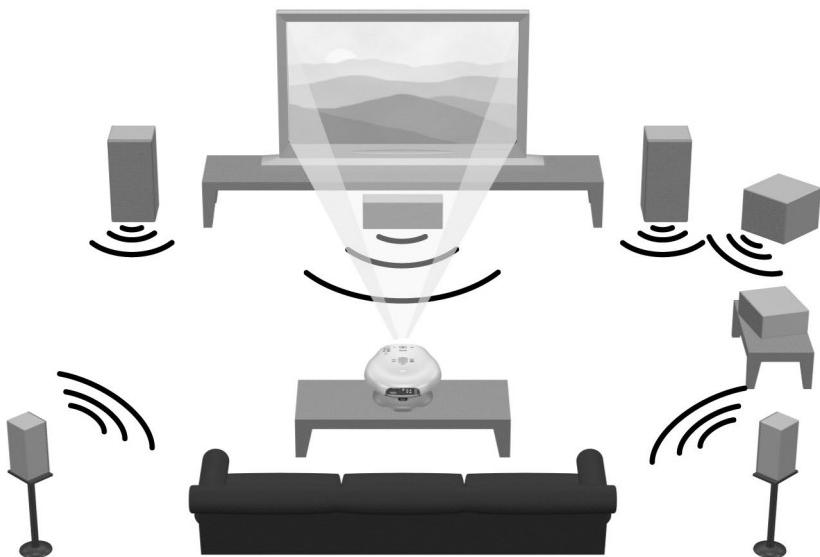
- 天井取付け器具: プロジェクタを天井に簡単かつしっかりと吊り下げることができます。
- ハンドル付きHPモバイルスクリーン: どこにでも携帯でき、簡単にセットできます。
- HP電源ケーブル: あらゆる地域に対応しています。
- HPケーブル: あらゆるオーディオビデオ機器を接続できます。
- HP交換用ランプ: プロジェクタに出荷時と同じような真新しい輝きをもたらします。

プロジェクタのセットアップ

レイアウトプラン

室内のレイアウトを考える際は、以下の点を考慮に入れてください。

- 室内のレイアウトと下記の距離チャートを参考にして、プロジェクタと画面の配置およびスクリーンサイズを決めてください。なお、プロジェクタのズームコントロール機能を使用することにより、これらの条件はいくらか調整ができます。
- プロジェクタがスクリーンに向かって真っ直ぐであり、またスクリーンに対して垂直になるようにしてください。さもなければ、画像のバランスが悪くなります。
- 最良の画像を得るには、ある程度品質の良い投影スクリーンをお買い求めください。スクリーンによっては広角度投影用に設計されている、スクリーン中央の輝度を高めるように設計されているものがあります。表面が平らでホワイトカラーまたはライトグレーのスクリーンなども、投影品質の高い画像が得られます。
- 最も快適にご覧になるには、プロジェクタの快適視野ライン周囲の近くにお座りください。スクリーンの材質などの問題により、スクリーンの中央線上から離れた場所では、快適にご覧になれない場合があります。
- スクリーンとプロジェクタとだいたい等距離(プロジェクタと同じ位置)でご覧になるのが最適です。
- スクリーンは、できればスクリーン底辺がプロジェクタより若干上になるように配置してください。プロジェクタは天井に上下逆に吊り下げて設置することができます(47ページの「天井に設置する」を参照)。
- 照明が調整しやすいように部屋をレイアウトしてください。一般には最小限の照明が好まれますが、スクリーン上への周辺光を抑えることにより、ある一定の結果が得られます。照明が明るすぎると、色あせた感じの画像になってしまいます。
- 最も一般的なビデオソースはDVDプレーヤですが、このほかにオーディオ/ビデオ受信機、ビデオデッキ、ハードディスクレコーダ、ビデオゲーム機器、衛星放送受信機などもあります。
- ユーザ個人の環境にしたがって、プロジェクタまでのケーブル長がなるべく短くなるような機器をお選びください。ケーブル長が3 m以上の場合は、ビデオおよびオーディオの品質を保つために、高品質、低損失ケーブルをご使用ください。
- よりリアルなホームシアターを体験するには、Dolby Digitalシステムなど、5.1chサラウンドサウンドシステムを用意するとよいでしょう。このシステムには5個のスピーカと1個のサブウーファが備わっています。
- 外付けのサウンドシステムの場合、スピーカのレイアウト例について以下の図を参照してください。前面スピーカはすべてリスナーから等距離に、サブウーファーは壁または部屋の角に配置します。また、サラウンドスピーカはリスナーの頭と同じ高さにくるように配置します。スピーカはいろいろな場所に配置して試してみてください。



最も良い画像を得るには、プロジェクタをスクリーンから1.5mから5m以内に配置します。

画像サイズとスクリーン投影距離 — ep7110シリーズ

画像サイズ(対角)		画像サイズ(幅)		距離(レンズとスクリーン間)	
(インチ)	(メートル)	(インチ)	(メートル)	(インチ)	(メートル)
30	0.8	24	0.6	41~48	1.1~1.2
40	1.0	32	0.8	55~64	1.4~1.6
60	1.5	48	1.2	83~96	2.1~2.4
80	2.0	64	1.6	110~128	2.8~3.3
100	2.5	80	2.0	138~160	3.5~4.1
120	3.0	96	2.4	166~192	4.2~4.9
150	3.8	120	3.0	207~240	5.3~6.1
180	4.6	144	3.7	248~288	6.3~7.3
200	5.1	160	4.1	276~320	7.0~8.1
240	6.1	192	4.9	331~384	8.4~9.8
270	6.9	216	5.5	372~396	9.5~10.0

画像サイズとスクリーン投影距離 — ep7120シリーズ

画像サイズ(対角)		画像サイズ(幅)		距離(レンズとスクリーン間)	
(インチ)	(メートル)	(インチ)	(メートル)	(インチ)	(メートル)
30	0.8	24	0.6	43~50	1.1~1.3
40	1.0	32	0.8	58~67	1.5~1.7
60	1.5	48	1.2	87~101	2.2~2.6
80	2.0	64	1.6	116~134	2.9~3.4
100	2.5	80	2.0	145~168	3.7~4.3
120	3.0	96	2.4	174~202	4.4~5.1
150	3.8	120	3.0	217~252	5.5~6.4
180	4.6	144	3.7	261~302	6.6~7.7
200	5.1	160	4.1	290~336	7.4~8.5
240	6.1	192	4.9	348~400	8.8~10.0
270	6.9	216	5.5	391~400	9.9~10.0

電源の接続

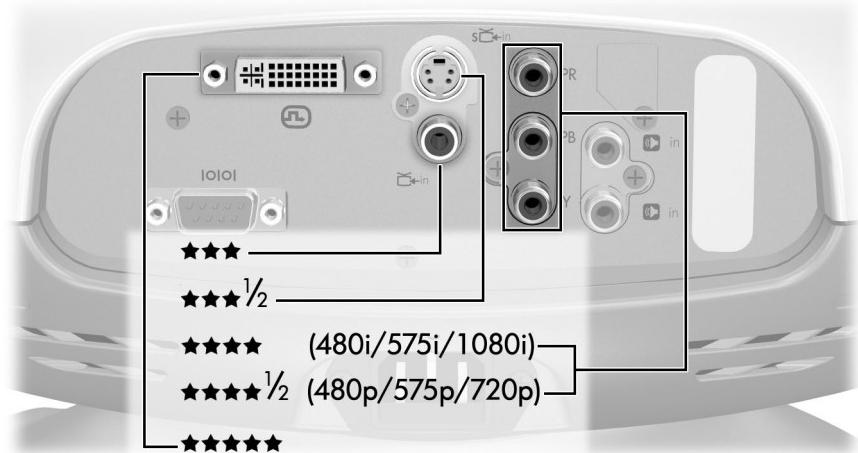
- スクリーン前面から1~10m離れた位置にある安定した台の上にプロジェクタを置きます。プロジェクタを置く台は、スクリーン底辺よりも低い位置が理想的です。
- 電源コードの一方の端をプロジェクタの背面①に接続し、もう一方の端をアース付き電源コンセント②に差し込みます。



プロジェクタを天井やスクリーン背面に固定する場合は、47ページの「プロジェクタの設置」を参照してください。

ビデオソースの接続

ビデオ機器の多くは、数種類の出力ポートを備えています。これらの機器をプロジェクタに接続する際は、最も高い画質を提供できる接続方法を選択してください。以下の図には、各ポートに対応する画質を星の数で示しています。複数のビデオソースがある場合は、別のポートに接続できます。または、オーディオ/ビデオ受信機器に接続したり、受信機をプロジェクタに接続したりできます(26ページの「複数のビデオソースの接続」を参照)。



次ページ以降で示すSビデオおよびコンポジットビデオケーブルのみ、本プロジェクタに同梱されています。DVIポートは一部のモデルでのみ使用可能です。



TVを含むホームシアターシステムをすでにお持ちの場合は、TVのかわりに表示機器としてプロジェクタを接続することも可能です。

コンポーネントビデオソースの接続

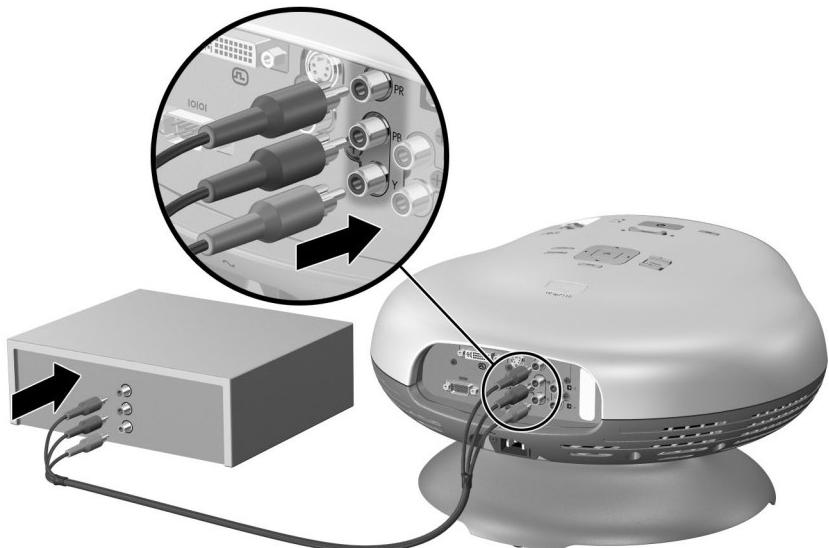
例: ケーブルボックス、DVDプレーヤ、衛星放送受信機、オーディオビデオ受信機

必要なもの:

- コンポーネントビデオケーブル



- 多くのDVDプレーヤや高品質のビデオ機器はコンポーネントビデオ出力を装備しています。このうち、3つのRCAコネクタはそれぞれYPbPrまたはYCbCrとラベルづけされています。
- 可能ならば、480p, 575pまたは720pなどのプログレッシブスキャン出力ビデオソースを使用できるようにビデオソースを構成してください。詳細は、ビデオソースに付属のマニュアルを参照してください。



Sビデオソースの接続

例: DVDプレーヤ、ビデオデッキ、ケーブルボックス、ビデオカメラ、ビデオゲーム機器など
必要なもの:

- Sビデオケーブル



コンポジットビデオソースの接続

例: ビデオデッキ、DVDプレーヤー、オーディオビデオ受信機、ビデオゲーム機器など
必要なもの:

- コンポジットビデオケーブル



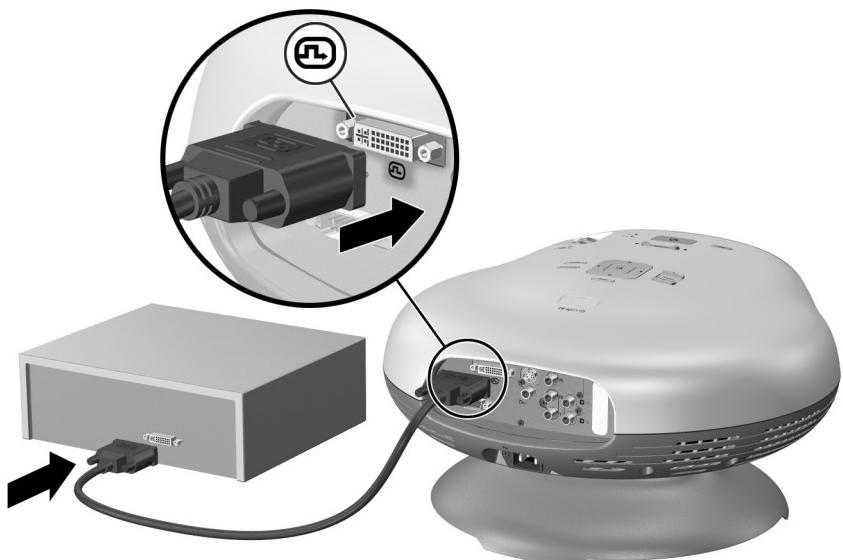
DVIソースの接続

DVIポートは一部のモデルでのみ使用可能です。

例: ケーブルボックス、衛星放送受信機、および一部のコンピュータ

必要なもの:

- DVIケーブル



SCARTソースの接続

例: ビデオデッキおよびDVDプレーヤ

必要なもの:

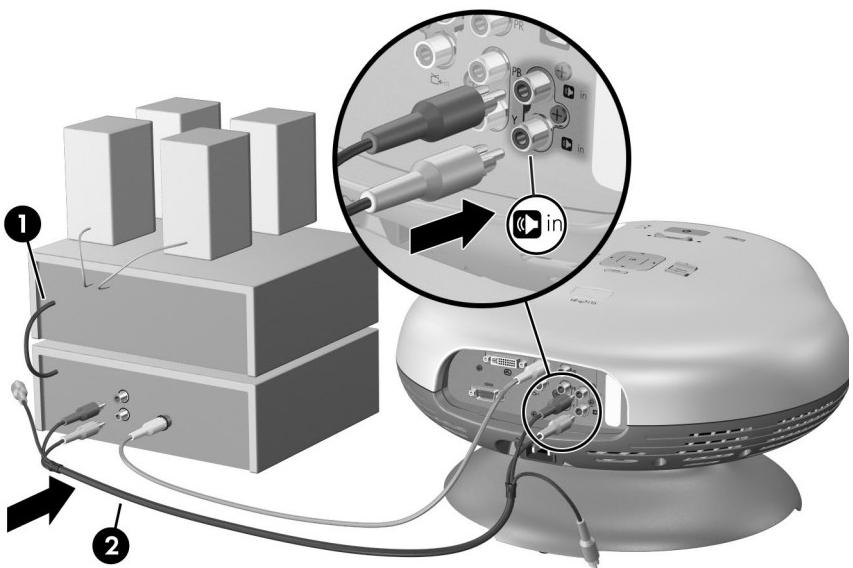
- Sビデオケーブル (または、ビデオソースがSビデオ出力を装備しない場合はコンポジットビデオケーブル)
- Sビデオ/SCARTアダプタ (一部のモデルに同梱)



サウンドシステムの接続

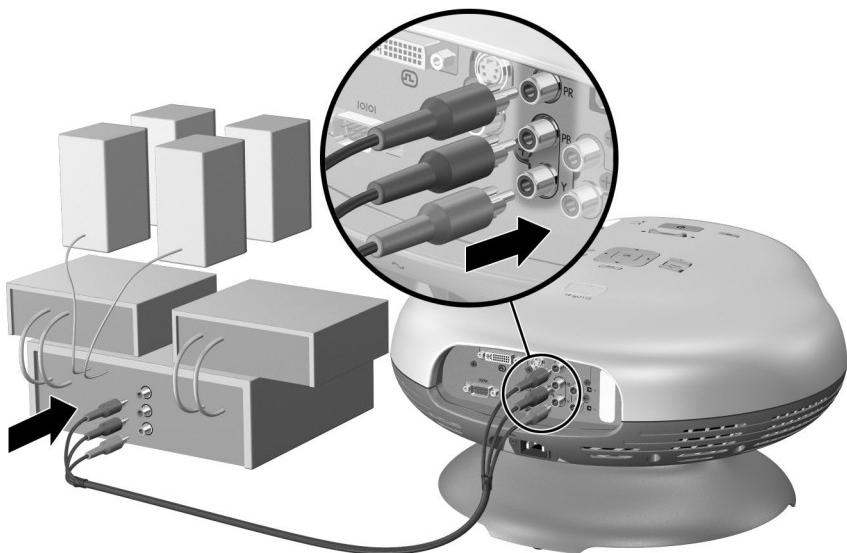
ホームシアターのサウンドを最大限発揮させるには、お使いのビデオソースのオーディオ出力をステレオまたはサラウンドサウンドシステムに直接接続してください(以下の図の接続方法①)。詳細は、お使いのビデオ機器に付属の説明を参照してください。

ただし、条件によってはプロジェクタ内蔵のスピーカのみを使用した簡単な接続も可能です(以下の図の接続方法②)。



複数のビデオソースの接続

複数のビデオソースがある場合、まず、これらのビデオソースを1台のオーディオ/ビデオ受信機またはスイッチボックスに接続し、その後、受信機またはスイッチボックスのビデオ出力から高品質のコネクタを使用してプロジェクタに接続します。すべてのビデオソースのオーディオ出力も受信機、スイッチボックス、またはサウンドシステムに接続します。

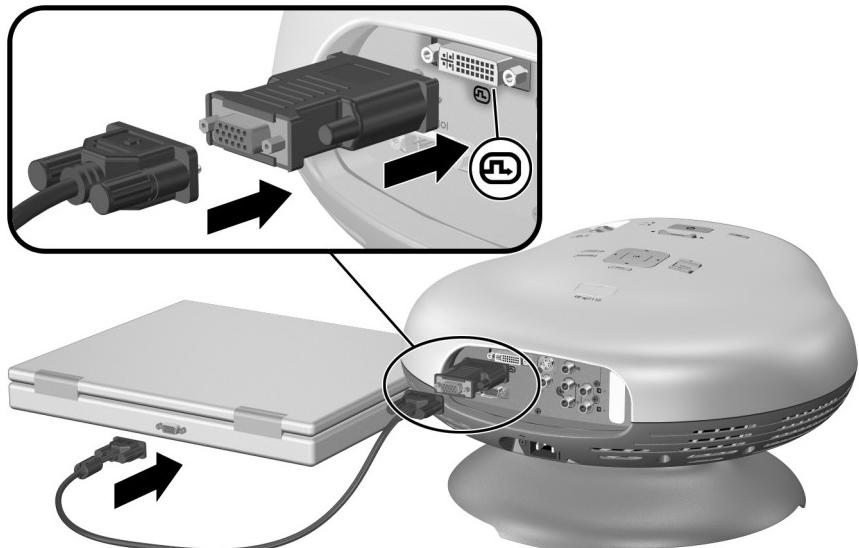


コンピュータの接続

プロジェクタにDVIポートがある場合、コンピュータをプロジェクタに接続して、コンピュータの画面をスクリーンに映し出すことができます。これには、DVI/VGAアダプタ(本プロジェクタに同梱)とVGAケーブル(別売)が必要です。

必要なもの:

- DVI/VGAアダプタ
- VGAケーブル



35ページの「コンピュータの画面の表示」を参照してください。



コンピュータの画面がプロジェクタに表示されない場合、コンピュータの複数のキーを同時に押して、コンピュータのVGA出力をオンにする必要があります。例えば、コンピュータによっては、Fn+F4 または Fn+F5 を同時に押さなければなりません。詳細は、コンピュータに付属のマニュアルを参照してください。

プロジェクタの電源のオン/オフ

プロジェクタの電源をオンにする

1. 電源コードが接続されていることを確認してください。
2. レンズのカバーを左にスライドさせて①、レンズを開きます。
3. プロジェクタまたはリモコンの電源ボタン②を押します。

プロジェクタがウォームアップするまで1分ぐらいかかります。ウォームアップの間、電源ボタンが点滅します。



プロジェクタのパーツやプロジェクタの排気が暖かいのは通常の状態であり、問題ありません。プロジェクタは過熱状態になると、温度警告ライトが点灯し、自動的にシャットダウンします。

プロジェクタの電源をオフにする

1. プロジェクタの電源をオフにするには、プロジェクタの電源ボタンまたはリモコンの電源ボタンを押します。電源ボタンは押し続けないでください。
クールダウン中は電源ボタンが点滅し、やがてプロジェクタの電源がオフになります。プロジェクタの電源がオフになっても、プロジェクタ内部では少量の電源が消費されています。
2. クールダウン中または電源ボタンの点滅が停止した後に、ビデオ機器やオーディオ機器をプロジェクタから取り外してもかまいません。



注意: プロジェクタが完全にクールダウンし(冷却ファンが停止する)、電源ボタンの点滅が消えるまでは、プロジェクタの電源コードを抜かないでください。これは、ランプの寿命を低下させるのを防ぐためです。

3. プロジェクタの電源コードを抜いたり、プロジェクタを取り外さなければならない場合は、電源ボタンのライトの点滅が消えてから行ってください。

クールダウン中にプロジェクタの電源を再度押しても、プロジェクタはオンにはなりません。クールダウンが終了し、電源ボタンの点滅が消えるまでお待ちください。

プロジェクタの移動

プロジェクタを移動するときは:

- プロジェクタが完全にクールダウンするまで待ちます。その後、ケーブルをすべて取り外します。
- 激しい揺れや衝撃を避けてください。できるだけ、ソフトケースなどに入れて持ち運んでください。
- 温度と湿気制限を守ってください(71ページの「仕様」を参照)。プロジェクタが冷えている場合は、結露を避けるためにゆっくりとウォームアップしますので、しばらくお待ちください。

基本調整

ここでは、プロジェクタの基本的な調整方法について説明します。

ソースの選択

スクリーン上にビデオソースの画像が表示されない場合は、正しいソースを選択します。

- 画像が表示されるまで、またはビデオソースが接続されているビデオポート名が表示されるまで**source**ボタンを1回または数回押します。

ビデオソースの電源がオンになっており、ビデオを再生中であることも確認してください。

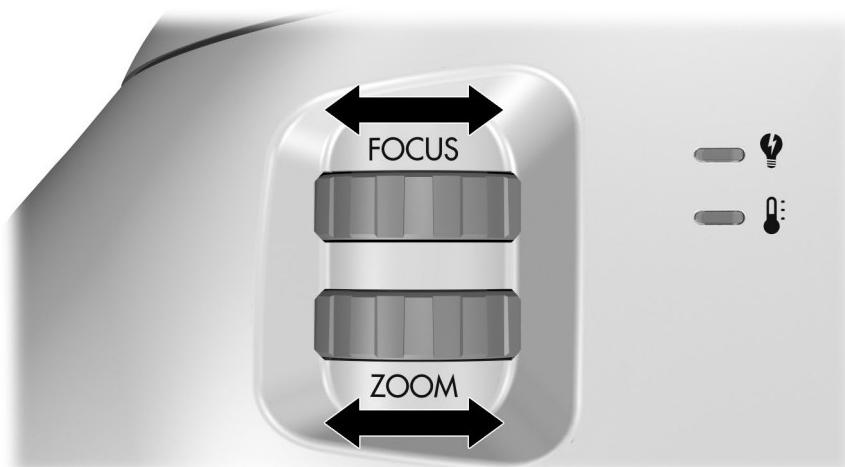
プロジェクタの投影位置の調整

- スクリーンの投影画像の上下位置を調整するには、設置スタンド①の上のプロジェクタを上下に押します。
- 投影画像のレベルを調整するには、調整脚②のハンドルを動かします。



フォーカスとズームの調整

1. フォーカスリングを回して、画像が鮮明になるように調整します。本プロジェクタで焦点が合う距離は、1~10 mです。
2. ズームリングを回して、画像の大きさを100%~116%の範囲で調整します。



画像がスクリーンサイズに適さない場合は、プロジェクタをスクリーンに近づけるか、遠ざけるかしてください。

画像モードの変更

ビデオソースの映像を表示している間に、別の画像モードに素早く変更して、その画像を調整することができます。画像モードではカラー や サイズなどのプロパティを制御でき、室内の照明やビデオ映像のタイプに最適な設定を簡単に選択できます(37ページの「画像の調整」を参照)。

- **picture mode**ボタンを数回押して、画像に最も適した画像モードを選択します。



以下の手順で、画像モードを使用中のビデオソースに適したモードにカスタマイズすることもできます。

1. **picture mode**ボタンを押して調整したい画像モードを選択します。
2. **menu**を押して、**画像 > 画像モードのカスタマイズ**を選択します。
3. 満足する画像になるまで、設定値を調整します。
4. **menu**を押してオンスクリーンメニューを閉じます。

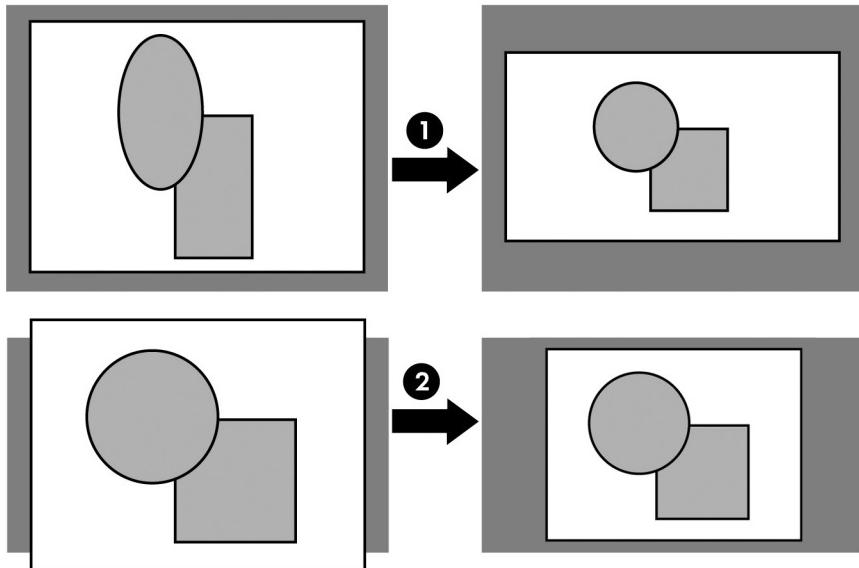
画像の形の調整

表示しているビデオソースの種類によっては、スクリーンに投影される画像の見え方が実際とは違つていて、スクリーン内にフィットしない場合があります。

- 使用中のビデオ機器からの出力がワイドスクリーンの場合、menuを押して、**画像 > 形の設定**の順に選択し、**ワイドスクリーン入力**をありに設定します。以下の図の①を参照してください。
- ビデオ機器からの出力が標準の場合、**ワイドスクリーン入力**をなしに設定します。



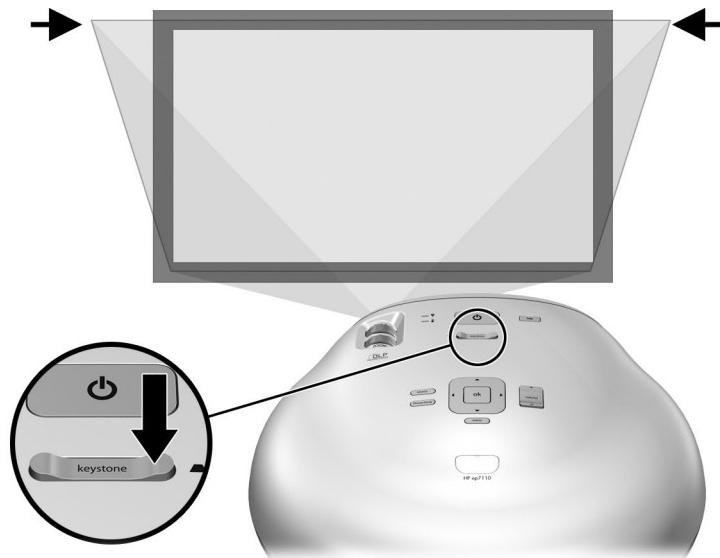
ワイド投影スクリーン上にワイドスクリーン画像を投影する場合、標準画像ではスクリーンサイズに合いません。この問題を解決するには、現在の画像モードを変更して投影画像のサイズを小さくします。menuを押して、**画像 > 画像モードのカスタマイズ**の順に選択し、**拡大を縮小**に設定します。以下の図の②を参照してください。



画像のゆがみの調整

プロジェクタが上下に角度調整されている場合、スクリーンに投影された画像の上下の辺は水平でも左右の辺が内側または外側に傾斜してしまうことがあります。このような問題を解決するには、以下の手順でキーストーン補正を行います。

- プロジェクタまたはリモコンの**keystone**を押して、画像のゆがみがなくなるまで調整します。



オンスクリーンメニューでもキーストーン補正を行うことができます。**menu**を押して、**画像 > 形の設定 > キーストーン**の順に選択し、画像を調整します。



画像の上辺および下辺が異なる方向に傾斜している場合、プロジェクタがスクリーンの正面を真っ直ぐ向くように(片側にずれないように)プロジェクタを動かしてください。

音量の調整

以下の手順でプロジェクタのスピーカの音量を制御できます。

- プロジェクタのスピーカの音量を変更するには、プロジェクタまたはリモコンの**volume**を押します。
- サウンドをオン/オフにするには、リモコンの**mute**ボタンを押すか、**menu**を押して、**入力 > ミュート**の順に選択してサウンドをミュートします。

ビデオの表示

ビデオソースの表示

1. ビデオ機器がプロジェクタに接続され、電源がオンになっていることを確認します。19ページの「ビデオソースの接続」を参照してください。
2. プロジェクタの設定が終わり、電源が入り、調整が済んでいることを確認します。30ページの「基本調整」を参照してください。
3. プロジェクタまたはリモコンの**source**ボタンを1回または数回押して、ビデオ機器が接続されている入力ポートを選択します。
4. ビデオ機器の操作パネルを使用してショーを開始し、ショーを操作します。

投影画像を調整したい場合は、32ページの「画像モードの変更」を参照してください。

画像の非表示または表示

1. 画像を非表示にしてプロジェクタのスピーカをオフにするには、プロジェクタまたはリモコンの**hide**ボタンを押します。この操作を行ってもビデオソースには影響がなく、ビデオの再生はこの間も行われています。
2. 画像をもう一度表示して、プロジェクタのスピーカをオンにするには、任意のボタンを押します。

コンピュータの画面の表示

プロジェクタにDVIポートがある場合、コンピュータの画面をスクリーンに映し出すことができます。

1. コンピュータがプロジェクタに接続され、電源がオンになっていることを確認します。27ページの「コンピュータの接続」を参照してください。
2. プロジェクタの設定が終わり、電源が入り、調整が済んでいることを確認します。30ページの「基本調整」を参照してください。

3. プロジェクタまたはリモコンの**source**ボタンを1回または数回押して、DVIポートを選択します。
4. コンピュータの画面がプロジェクタに表示されない場合は、コンピュータのビデオ出力ポートを手動でオンにする必要があります。例えば、一部のコンピュータでは、Fn+F4 または Fn+F5 などのキーを組み合わせて、この操作を行います。コンピュータに付属のマニュアルを参照してください。

投影画像を調整したい場合は、32ページの「画像モードの変更」を参照してください。

プロジェクトの調整

画像とサウンドの調整

画像の調整

オンスクリーンメニューには、画像を細かく調整するためのさまざまな設定が用意されています。

1. **menu**を押して、**画像**を選択します。
2. 必要に応じて画像調整項目を変更します。

画像メニューでは、輝度、コントラスト、画像の形、また画像モードのカスタマイズなど、さまざまなオプションを設定できます。

すべての画像メニューの説明については、39ページの「画像メニュー」を参照してください。



オンスクリーンメニューや調整を終了するには、**menu**ボタンを押します。

サウンドの調整

1. **menu**を押して、**サウンド**を選択します。
2. サウンド調整を設定します。

サウンドメニューでは、ミュート、音量、スピーカの動作などのサウンド設定を調整できます。

すべてのオーディオメニューの説明については、41ページの「サウンドメニュー」を参照してください。

プロジェクトのセットアップの調整

1. **menu**を押して、**セットアップ**を選択します。
2. 必要に応じてセットアップ項目を設定します。

セットアップメニューでは、メニューの言語、プロジェクトの位置、メニューのタイムアウトなどを選択できます。

すべてのセットアップ項目の説明については、41ページの「セットアップメニュー」を参照してください。

オンスクリーンメニューの使用

オンスクリーンメニューを使用して設定を変更する

オンスクリーンメニューの設定は、プロジェクトまたはリモコンのボタンを使って変更できます。

1. プロジェクタまたはリモコンの**menu**を押します。オンスクリーンメニューが表示されます。
2. 上 ▲ または下 ▼ ボタンを押して目的のメニューアイコンを強調表示し、右 ► を押してそのメニューまで移動します。
3. 上 ▲ または下 ▼ ボタンを押してその設定を強調表示し、**ok**を押して設定の調整を行います。
4. 左 ◀ または右 ► を押すか、上 ▲ または下 ▼ ボタンを押して、目的の設定を変更します。
5. **ok**を押してメニューに戻ります。
6. 別のメニューに移動するには、左 ◀ ボタンを押してからメニューを選択します。
7. オンスクリーンメニューを閉じるには、**menu**を押します。

一定時間操作しないでいると、オンスクリーンメニューは自動的に閉じます。オンスクリーンメニューが閉じるまでの時間を変更するには、**menu**を押して、**セットアップ > メニューのタイムアウト**の順に選択します。



オンスクリーンメニューや調整を終了するには、**menu**ボタンを押します。

入力メニュー

説明図については、12ページの「バックパネル」を参照してください。

入力メニュー

コンポーネント	コンポーネントビデオポート (YPbPr) に接続されたソースを表示します。
Sビデオ	Sビデオポートに接続されたソースを表示します。
コンポジット	コンポジットビデオポートに接続されたソースを表示します。
DVI	DVIポートに接続されたソースを表示します (一部のモデルでのみ使用可能)。

画像メニュー

画像調整メニューの一部は特定の入力ポートが使用されているときのみ使用可能です。使用できない項目はオンスクリーンメニューでグレーに表示されます。

画像メニュー

カラー設定...	画像とカラーを調整します。
輝度	画像を明るくしたり暗くしたりします。
コントラスト	画像の明るい部分と暗い部分の差を設定します。
鮮明度	画像の鮮明度を調整します。
彩度	色の量を調整します。
色合い	色を赤または緑の方向にずらします。
カラースペース	コンポーネント入力の一部で、入力ソースが使用しているカラー規格のタイプを選択します。
カラー設定のリセット	これらのカラー設定をデフォルトの設定に戻します。
形の設定...	画像の形を調整します。
キーストーン	画像のゆがみを補正します。プロジェクタの位置がスクリーンに対して高すぎたり低すぎたりする場合は、この補正を行います。
キーストーンのリセット	キーストーン補正を0(補正なし)にリセットします。
ワイドスクリーン入力	ワイドスクリーン入力対応機器を使用中かどうかを設定し、それに応じて画像の高さを調整します。

画像メニュー(続き)

VGA設定...	コンピュータ入力の設定を調整します。
自動同期	プロジェクタを入力信号に再同期させます。信号の変化に応じた補正が可能です。
周波数	コンピュータに応じてプロジェクタのタイミングを調整します。
トラッキング	コンピュータに応じてプロジェクタのフェーズを調整します。
垂直オフセット	画像を投影領域内で上下に移動します。
水平オフセット	画像を投影領域内で左右に移動します。
画像モード	カラーおよび画像の設定をさまざまな表示条件に対してプリセットされている値の1つに合わせます。各入力ソースまたは表示環境に応じて、異なる画像モードを使用することができます。また、画像モードはカスタマイズすることも可能です。
画像モードのカスタマイズ...	現在の画像モードに関連する設定を変更します。
画像補正	画像のカラー、明るさ、その他の特性を細かく調整します。
色温度	色を赤または青の方向にずらします。
拡大	スクリーンへの画像の合わせ方を以下の中から選択します。 ■ 自動調整: 画像を拡大せずに、自動的にスクリーンサイズに合わせます。 ■ 1:1: 画像の1ドットを投影画像の1ドットに対応させて表示します。 ■ 縮小: 標準的な形の画像をワイドスクリーンサイズに合わせます。
ピクチャシフト	投影エリア内で画像を動かします。ワイドスクリーンの映画など、ご覧になっている画像が投影エリア全体よりも小さい場合に便利です。
ピクチャシフトのリセット	ピクチャシフトを0(中央)にリセットします。
この画像モードをリセット	現在の画像モードをデフォルト設定に戻します。

サウンドメニュー

サウンドメニュー

ミュート	プロジェクトのスピーカをオフにします。
音量	スピーカの音の大きさを調整します。
内蔵スピーカー	内蔵スピーカのオン・オフを設定します。
サウンド設定のリセット	サウンド設定をデフォルト値に戻します。

セットアップメニュー

セットアップメニュー

言語	オンスクリーンメニューで使用する言語を選択します。
プロジェクトの配置	プロジェクトの向き(正立/倒立、スクリーン前/後)に合わせて画像を調整します。向きに合わせて画像を反転したり裏返したりします。
メニューのタイムアウト	オンスクリーンメニューを閉じるまでの入力待ち時間(秒数)を設定します。
DVI互換性	DVIポートの構成を行います。DVIポートに接続されたコンピュータが常に低解像度の画像を投影する場合は、VGAのみを使用します。
ランプ時間のリセット	新しいランプに交換したら、使用時間をリセットします。
すべての設定のリセット	すべてのメニュー設定をデフォルト値に戻します。

ヘルプメニュー

ヘルプ

診断テスト...	プロジェクトとリモコンの動作をチェックするためのテストを表示します。
----------	------------------------------------

プロジェクトのメンテナンス

プロジェクトのステータスを見る

プロジェクトのステータスを見るには、プロジェクトまたはリモコンの**menu**ボタンを押し**ヘルプ**を表示します。画面にプロジェクトの情報とステータスが表示されます。

プロジェクトのレンズのクリーニング

以下の注意事項にしたがって、プロジェクトの前面レンズを清掃してください。レンズ内側の面はどれも清掃することはできません。

- レンズ表面のキズや損傷を最も軽くするには、脱イオン処理したきれいな乾いた空気でレンズ表面に付着した埃を吹き飛ばしてください。
- この方法で不十分な場合は、次の方法を使ってください。
 - a. きれいな乾いた布で、レンズを同一方向に拭きます。レンズ表面を往復させて拭かないようにしてください。
 - b. 布が汚れていったり、レンズに汚れが付いた場合は、布を洗ってください。布を洗つてもきれいにならない場合、あるいは生地が傷んでいる場合は、別の布を使ってください。



クリーニングには以下のような特別な注意が必要です。

- レンズ表面に液体やクリーナーを直接吹き付けることは絶対にしないでください。クリーナーがレンズを損傷するおそれがあります。
- 清掃用の布を洗う際に柔軟剤を使用したり、乾かすときに柔軟シートを使用したりすることは避けてください。布に付いた化学物質がレンズの表面を損傷するおそれがあります。
- 清掃用の布がレンズに触れたままの状態で長時間保管しないでください。布の染料がレンズに移るおそれがあります。布をケースなどに入れないと汚れるおそれがあります。

ランプモジュールの交換

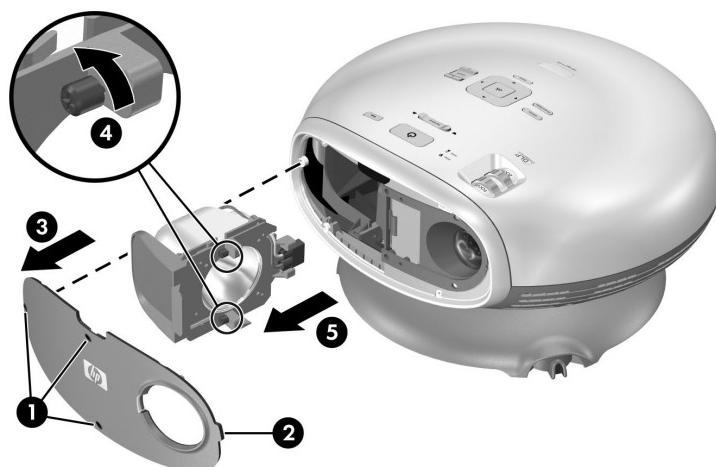
プロジェクタを長時間使用していると、プロジェクタのランプの明るさが少しづつ減少するとともに、ランプが破損しやすくなります。新しいランプに交換すれば、出荷時のようにいつでも真新しい明るさを取り戻すことができます。ランプ警告メッセージが表示された場合は、ランプを交換するようにお勧めします。



ランプモジュールを交換する際は、特別な注意が必要です。

- ケガを避けるため、ランプモジュールを取り外す際はガラスが割れていないかどうか注意してください。天吊りの場合、ランプモジュールを取り外す際は目の保護用のゴーグルと手袋を着用してください。ランプが割れガラス破片の処理のために修理が必要な場合は、HPまでお問い合わせください。
- ランプには少量の水銀が含まれています。万一、ランプが破損した場合は、破損が起きた部屋を十分に換気してください。ランプの廃棄は、環境汚染防止のため法律で規制されている場合があります。廃棄またはリサイクルの方法については、各自治体または電子工業会 <http://www.eiae.org> にお問い合わせください。
- ランプ部品は非常に高温で動作するため、ランプモジュールは30分ほど待ってから取り外してください。

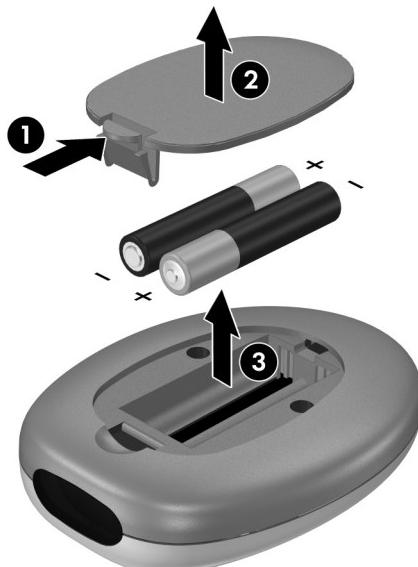
1. プロジェクタをオフにし、約30分間冷却します。
2. 電源コードを取り外します。
3. フロントカバーの3本のねじを緩め ①、右端のタブ ② がプロジェクタから外れるまでフロントカバーを引き出します ③。
4. ランプモジュールの2本のねじを緩め ④、モジュールを引き出します ⑤。



5. 新しいランプモジュールをプロジェクトに挿入し、2本のネジを締めます。
6. フロントカバーのタブをプロジェクトのスロットにはめ込み、カバーを閉じます。
7. カバーをとめていたねじを締めます
8. プロジェクタの電源をオンにします。ウォームアップ時間が過ぎてもランプが点灯しない場合は、ランプを取り付け直してください。
9. **menu**を押して、**セットアップ > ランプ時間のリセット**の順に選択し、**ok**を押します。

リモコンの電池を交換する

1. リモコンの裏側のタブを押し込み①、電池カバー②を開けると電池が現れます。
2. 古い電池を取り出し、新しい単4電池2個を入れます③。
3. 電池カバーを取り付けます。



古い電池を廃棄するときは、電池の廃棄またはリサイクルに関する規制について、自治体または廃棄業者にお問い合わせください。

プロジェクタの設置

プロジェクタの設置

卓上に設置する

この設置方法については、第1章で詳しく説明しています。詳細については、15ページの「プロジェクタのセットアップ」を参照してください。

天井に設置する



警告: 不適切な設置が原因で起こるケガなどを防ぐために、プロジェクタの天井設置は専門の技術者にお任せになることをお勧めします。

1. HP L1733A天井取付けキットを使用してプロジェクタを天井に取り付けます。天井に取り付ける前にプロジェクタの設置スタンドを取り外します。設置方法については、天井取付け器具に付属の説明書を参照してください。
2. プロジェクタを天井に設置したら、天井設置に合わせてプロジェクタの設定を変更します。**menu**を押して、**セットアップ > プロジェクタの配置**の順に選択し、ドロップダウンリストから**天吊り(スクリーン前)**を選択します。

背面投影用に設置する

1. 背面投影用の半透明スクリーンの背面から1~10 m離れた位置にプロジェクタを配置します。
詳細な手順については、15ページの「プロジェクタのセットアップ」または47ページの「天井に設置する」を参照してください。
2. **menu**を押して**セットアップ > プロジェクタの配置**の順に選択します。次に、**スクリーン裏側**または**天吊り(スクリーン裏)**を選択します。

ルームコントローラの接続

プロジェクトにシリアルポートがある場合、シリアル(RS-232)ケーブルを使用して、プロジェクトをルームコントローラに接続することができます。以下のコマンドを使用してルームコントローラを設定したら、ルームコントローラでプロジェクトやホームシアター用のコンポーネントなどを操作することができます。

シリアル接続

プロジェクトのシリアルポートは、標準のシリアル(RS-232)ケーブルを使用します。

- ピン2: プロジェクタへの送信データ(RxD)
- ピン3: プロジェクタからの送信データ(TxD)
- ピン5: グランド

ルームコントローラは以下のシリアル(RS-232)設定が必要です。

- 通信速度 9600 bps
- 1スタートビット + 8データビット(D0=LSB、D7=MSB) + 1トップビット
- パリティなし
- 全2重通信チャネル(フロー制御なし)
- ハンドシェーディングなし

ルームコントローラのコマンドの例

以下の例では、“<CR>”はキャリッジリターン、“<LF>”は改行を示します。

コマンドはプレフィックス(*)、コマンド名、必要なパラメータ、終端文字のキャリッジリターン<CR>から構成される「リクエスト」としてプロジェクトに送信されます。

* command = parameter <CR>

リクエストにはASCII英数字のみ使えます。ブランク(スペース)も使えますが、キーワードと数字内に限られます。改行<LF>は無視されます。

以下の表は、さまざまなリクエストに使用できる用途別シンタックスです。

タスクの内容	使用するリクエストシンタックス
設定を指定値に変更する	*command=value<CR>
現在の設定を確認する	*command=?<CR>
設定値を増やす	*command=+<CR>
設定値を減らす	*command=-<CR>
アクションを呼び出す(パラメータは不要)	*command<CR>

一般に、プロジェクタに送信されるリクエストはそれぞれ1つまたは複数の通知メッセージを生成し、そのメッセージはルームコントローラに送信されます。プロジェクタが開始するアクションもまた通知メッセージを生成できます。

プロジェクタは設定が変更されるたびに通知メッセージを送信し、コントローラからリクエストがあったことやボタンが押されたりメニューが変更されたなどのアクションがあったことを知らせます。リクエストされた設定によっては変更に時間がかかったり、段階的に実行されるものもあるため、リクエストは遅延の通知を生成することができます。

以下の表はさまざまな状況に応じて生成される通知メッセージのタイプを示します。

リクエストのタイプ	生成される通知のタイプ
設定の変更	リクエストコマンドをエコーし、結果値を表示: リクエスト: *BRT=65<CR> 通知: *BRT=65<CR><LF>
設定の問い合わせ	リクエストコマンドをエコーし、結果値を表示: リクエスト: *CON=?<CR> 通知: *CON=40<CR><LF>
アクションの実行	リクエストコマンドをエコー: リクエスト: *NXT<CR> 通知: *NXT<CR><LF>

不正なコマンドがあると、以下のタイプの通知を生成します。

- コマンドの頭にアスタリスクなし—応答なし
- 認識されないコマンド名—コマンドに“?”を追加
- 現在使用できないコマンド—コマンドに“?”を追加

プロジェクタの設置

- 無効なパラメータ — 現在の値を付けたコマンド
- 不要なパラメータが付いたアクションコマンド — アクションコマンド
- 使用できないアクションコマンド — アクションコマンド

以下の例は、プロジェクタがアクティブな入力ソースを変更するためのリクエストにどのように応答するかを簡単に説明したものです。後のほうの3つの通知は遅延されていることに注目してください。

リクエスト:	*RSRC=4<CR>
通知:	*RSRC=4<CR><LF> (リクエストに応答)
	*SRC=0<CR><LF> (プロジェクタはソース4の取得を試みているが、有効なソースが見つからない)
	*SRC=4<CR><LF> (ソース4は現在アクティブ)
	*BRT=60<CR><LF> (ソース4の輝度が変更された)
	*CSPC=?<CR><LF> (この入力ではカラースペースはサポートされていない)

ルームコントローラのコマンド

以下の表で特定コマンドのパラメータが「なし」になっている場合、そのコマンドにパラメータは不要です。一部のコマンドはプロジェクタの電源がオン、つまりSTAT=1のときのみ有効です。また、一部のコマンドは特定の入力ソースがアクティブなときのみ使用可能です。

ソースの機能		
コマンド	パラメータ	説明
SRC	?	現在アクティブな入力ソースを問い合わせます: 0=アクティブなソースなし、3=コンポジットビデオ、4=Sビデオ、5=コンポーネントビデオ、8=DVI
RSRC	3,4,5,8,?	アクティブな入力ソースとして指定したソースの使用を試みます、またはリクエストされた最後のソースを問い合わせます: 3=コンポジットビデオ、4=Sビデオ、5=コンポーネントビデオ、8=DVI
NXT	なし	次の入力ソースに切り替えます。

ビデオの機能		
コマンド	パラメータ	説明
CSPC	0 to 2, ?	アクティブなカラースペースを設定または問い合わせます: 0=RGB, 1=YCbPr, 2=YCbCr
PMOD	0,1,3,4,5,?	画像モードを設定または問い合わせます: 0=コンピュータ、1=ムービー、 3=スポーツ、4=TV、5=カスタム
VSHF	value, +, -, ?	投影された画像の垂直方向の移動を設定または問い合わせます: 使用可能な範囲はアクティブな入力ソースによって決定されます。
HSHF	value, +, -, ?	投影された画像の水平方向の移動を設定または問い合わせます: 使用可能な範囲はアクティブな入力ソースによって決定されます。
BRT	0 ~ 100, +, -, ?	輝度を設定または問い合わせます。
CON	0 ~ 100, +, -, ?	コントラストを設定または問い合わせます。
SAT	0 ~ 100, +, -, ?	彩度を設定または問い合わせます。
TNT	-45 ~ 45, +, -, ?	色合いを設定または問い合わせます。
CTMP	0 ~ 2, ?	色温度を設定または問い合わせます: 0=暖色、1=ニュートラル、2=寒色
SHRP	0 ~ 12, +, -, ?	鮮明度を設定または問い合わせます。
PENH	0 ~ 6, +, -, ?	画像補正に関する設定を設定または問い合わせます。
KEYV	-50 ~ 50, +, -, ?	垂直方向のキーストーンを設定または問い合わせます: 0=キーストーン補正なし、1~50=画面上部を縮める、-1~-50=画面下部を縮める
ASPT	0,1,4,?	アスペクト比を設定または問い合わせます: 0=1:1、1=自動調整、4=縮小
SYNC	なし	プロジェクタをアクティブなコンピュータ入力ソースと再同期させます。
FREQ	-50 ~ 50, +, -, ?	アクティブなコンピュータ入力ソースに応じて、プロジェクタのタイミングを設定または問い合わせます。

ビデオの機能 (続き)

コマンド	パラメータ	説明
TRK	value, +, -, ?	アクティブなコンピュータ入力ソースとのプロジェクタの同期を設定または問い合わせます。
VPOS	value, +, -, ?	投影された画像の垂直方向の位置を設定または問い合わせます: 使用可能な範囲はアクティブなコンピュータ入力ソースの最大および最小許容値です。
HPOS	value, +, -, ?	投影された画像の水平方向の位置を設定または問い合わせます: 使用可能な範囲はアクティブなコンピュータ入力ソースの最大および最小許容値です。
HIDE	0, 1, ?	画像の非表示 (空白画面) を設定または問い合わせます: 0=表示、1=非表示
WIDE	0, 1, ?	ワイドスクリーンモードを設定または問い合わせます: 0=ノーマル、1=ワイド
KEYR	なし	キーストーン値をゼロにリセットします。

オーディオ機能

コマンド	パラメータ	説明
ミュート	0, 1, ?	オーディオのミュートを設定または問い合わせます: 0=ミュートしない、1=ミュート
VOL	0 ~ 31, +, -, ?	音量を設定または問い合わせます: 0=オフ、31=最大
INTSP	0, 1, ?	内蔵スピーカの使用を設定または問い合わせます: 0=無効、1=有効

セットアップの機能		
コマンド	パラメータ	説明
LANG	0 ~ 9, 11, ?	プロジェクトで使用する言語を設定または問い合わせます: 0=英語、1=フランス語、2=イタリア語、3=ドイツ語、4=ポルトガル語、5=スペイン語、6=繁体字中国語、7=簡体字中国語、8=韓国語、9=日本語、11=オランダ語
LHRS	?	ランプが使用されてきた時間 (10分の1単位) を問い合わせます。
THRS	?	プロジェクトが使用されてきた合計時間 (10分の1単位) を問い合わせます。
POS	0 ~ 3, ?	プロジェクトの位置を設定または問い合わせます: 0=スクリーン正面、1=天吊り (スクリーン正面)、2=スクリーン裏側、3=天吊り (スクリーン裏側)
TMO	5 ~ 20, ?	メニューの表示時間 (秒数) を設定または問い合わせます。
VERS	?	プロジェクトのモデル番号とファームウェアバージョンを問い合わせます。以下の形式で通知されます。 *VERS="proj_model:proj_fw"
SNUM	?	プロジェクトのシリアル番号を問い合わせます。

電源とステータスに関する機能

コマンド	パラメータ	説明
SHDN	なし	プロジェクタをクールダウン状態に移行させ、その後、スタンバイ状態に移行させます。プロジェクタはクールダウン状態 (STAT=3) およびスタンバイ状態 (STAT=0) に入るごとに通知を送ります。このキーワードを実行するには、プロジェクタのステータスがオン (STAT=1) である必要があります。
		 クールダウン状態の通知からスタンバイ状態の通知までの間に、STAT以外のリクエストを送信しないでください。送信してしまうと、予期しない結果が起こる可能性があります。
WまたはWAKE	なし	プロジェクタをウォームアップ状態に移行させ、その後、オン状態に移行させます。プロジェクタはウォームアップ状態 (STAT=2) に入ると通知を送り、その後およびオン状態 (STAT=1) に入ると通知を送ります。このキーワードを実行するには、プロジェクタのステータスがスタンバイ (STAT=0) である必要があります。
		 ウォームアップ状態の通知からオン状態の通知までの間に、STAT以外のリクエストを送信しないでください。送信してしまうと、予期しない結果が起こる可能性があります。
STAT	?	プロジェクタの現在の状態を問い合わせます: 0=スタンバイ状態(オフ)、1=オン、2=ウォームアップ状態、3=クールダウン状態、4=オーディオのみの状態
ALERT	リクエストではありません	システムアラート条件が起こると通知します: 0=ランプの寿命に関する警告、1=ランプの寿命に達した、2=ランプ障害、3=ランプの問題、4=内部温度が高すぎる、5=ファンに関する問題、6=周辺温度が高すぎる、7=カラーホイールの問題、8=ランプカバーが開いている
		 アラートを送信するのはプロジェクタのみです。またアラートをリクエストで使用することはできません。

コマンドとキーの関係

コマンド	パラメータ	説明
MENU	なし	キーパッドの [MENU] キー操作をシミュレート
ENTER	なし	キーパッドの [OK] キー操作をシミュレート
LEFT	なし	キーパッドの [左矢印] キー操作をシミュレート
RIGHT	なし	キーパッドの [右矢印] キー操作をシミュレート
UP	なし	キーパッドの [上矢印] キー操作をシミュレート
DOWN	なし	キーパッドの [下矢印] キーをシミュレート

問題の解決

トラブルシューティングのヒント

プロジェクタに問題が生じた場合は、その状況に最も近い例を以下の中から探し、本章の該当するセクションをご覧ください。

- 「警告ライトの問題」 57ページ
- 「始動時の問題」 58ページ
- 「画像の問題」 58ページ
- 「サウンドの問題」 61ページ
- 「停止の問題」 62ページ
- 「リモコンの問題」 62ページ



記載されている方法で問題が解決しない場合は、<http://www.hp.com/support> の追加情報もご覧ください。HPへの問い合わせ方法は、第7章「サポートと保証」を参照してください。

警告ライトの問題

警告ライトが両方とも点滅している場合:

- プロジェクタの電源が切れたあと、プロジェクタが冷えるまで待ちます。プロジェクタを再始動させたあとでこのような状況になった場合、内蔵のコンポーネントに障害があります。HPにご連絡ください。

赤い温度ライトが点灯または点滅している場合:

- プロジェクタの電源が切れたあと、プロジェクタが冷えるまで待ちます。プロジェクタの換気口の周囲に換気口を塞いでいるものがないか確認し、埃や障害物があれば取り除きます。また、高温の元となる熱源があれば部屋から取り除きます。温度と湿気制限を守ってください(71ページの「仕様」を参照)。プロジェクタを再始動させたあとで警告ライトが点灯または点滅する場合は、HPにご連絡ください。

赤いランプライトが点灯または点滅している場合:

- プロジェクタの電源が切れたあと、プロジェクタが冷えるまで待ちます。プロジェクタを再始動させたあとで警告ライトが点灯または点滅する場合は、新しいランプと交換してください。新しいランプモジュールを取り付けたあとでこのような状況が発生した場合は、ランプモジュールをいったん取り外し、取り付けなおしてください。それでもまだ問題が解決しない場合は、HPまでお問い合わせください。

赤いランプライトがすばやく点滅している場合:

- プロジェクタ正面のランプ周囲のカバーが正しく取り付けられ、ランプに密着していることを確認します。カバー右側のタブとカバー左側のねじも確認します。

始動時の問題

ライトが点灯しない、または音がしない場合:

- 電源ケーブルがプロジェクタにしっかりと接続されており、ケーブルのもう一方の端が通電している電源コンセントに差し込まれていることを確認します。
- 電源ボタンをもう一度押します。
- 電源コードをコンセントから取り外し、15 秒ほどしたら差し込み、もう一度電源ボタンを押します。

画像の問題

空白の画面に「待機中」というメッセージが表示される場合:

- 正しいソース名が選択されるまで、プロジェクタまたはリモコンの**source**ボタンを1回または数回押します。
- 外部ソースの電源がオンで、プロジェクタに接続されていることを確認します。
- コンピュータ接続の場合は、ノートブックコンピュータの外部ビデオポートがオンになっていることを確認します。コンピュータのマニュアルを参照してください。一部のノートブックでは、Fn+F4 または Fn+F5 ファンクションキーを押して外部ビデオポートをオンにする必要があります。

正しくない入力ソースが表示される場合:

- プロジェクタまたはリモコンの**source**ボタンを1回または数回押して、別のアクリティブな入力ソースを選択します。

画像の焦点が合っていない場合:

- レンズカバーが外れていることを確認します。
- オンスクリーンメニューを表示しながら、フォーカスリングを調整します(画像の大きさは変化しないはずです。変化する場合はフォーカスでなくズームを調整しています)。
- 投影スクリーンがプロジェクタから1~10 mの距離にあることを確認します。
- 投影レンズを見て、汚れていたら清掃します。
- コンピュータ接続の場合は、コンピュータの表示解像度を1024×768ピクセルに設定します。コンピュータでマルチモニタに設定している場合は、プロジェクタ用のモニタの解像度を調整します。
- コンピュータがSビデオポートに接続されている場合、コンピュータの画面で見るほど画像の解像度は高くできません。

画像が上下逆または反転状態で表示される場合:

- プロジェクタの位置設定が間違っています。**menu**を押して**セットアップ > プロジェクタの配置**の順に選択し、正しい設定を選択します。

画像が小さすぎるか大きすぎる場合:

- プロジェクタ上部にあるズームリングを調整します。
- プロジェクタをスクリーンに近く、または遠くに動かします。
- プロジェクタまたはリモコンで、**picture mode**ボタンを1回または数回押して、その画像に適したサイズに調整する画像モードがないかどうか確認します。
- **menu**を押して、**画像 > 画像モードのカスタマイズ > 拡大**の順に選択します。別の設定を試してみます。
- 使用中のビデオ機器からの出力がワイドスクリーンの場合、**menu**を押して、**画像 > 形の設定**の順に選択し、**ワイドスクリーン入力**を**あり**に設定します。それ以外の場合は、**なし**に設定します。

画像に台形歪みがある場合:

- プロジェクタの位置をできるだけスクリーンの中央、スクリーンの下端より下、または上端より上になるように調整します。
- プロジェクタまたはリモコンで、画像の両端が垂直になるまで**keystone**ボタンを押します。

画像が引き伸ばされている場合:

- プロジェクタまたはリモコンで、画像モードボタンを1回または数回押して、その画像に適したサイズに調整する画像モードがどれかを確認します。
- menu**を押して、**画像 > 画像モードのカスタマイズ > 拡大**の順に選択します。別の設定を試してみます。
- 使用中のビデオ機器からの出力がワイドスクリーンの場合、**menu**を押して、**画像 > 形の設定**の順に選択し、**ワイドスクリーン入力**を**あり**に設定します。それ以外の場合は、**なし**に設定します。

投影画像の色がわずかに違って見える場合:

- menu**を押して**画像>カラー設定**の順に選択し、必要に応じてカラー設定を調整します。
- menu**を押して、**画像 > カラー設定 > カラースペース**の順に選択します。別の設定を試してみます。
- menu**を押して、**ヘルプ > 診断テスト**の順に選択し、カラーテストを実行します。

投影画像の色がまったく違って見える場合:

- ケーブルコネクタのピンが曲がったり折れたりしていないことを確認します。
- menu**を押して、**画像 > カラー設定 > カラースペース**の順に選択します。別の設定を試してみます。
- menu**を押して、**ヘルプ > 診断テスト**の順に選択し、カラーテストを実行します。
- menu**を押して、**画像 > カラー設定 > カラー設定のリセット**の順に選択し、**ok**を押します。
- menu**を押して、**セットアップ > すべての設定のリセット**の順に選択し、**ok**を押します。

画像がクリアではない場合(ゴーストイメージ、不鮮明、画質が悪い):

- 使用中のビデオケーブルが定格75オームの同軸ケーブルであることを確認します。これ以外のケーブルやインピーダンスでは、画質が劣化するおそれがあります。
- ビデオソースとプロジェクタを接続するビデオケーブルの品質が比較的高い可能性があります(特にケーブルの長さが3m以上の場合)。ビデオソースとプロジェクタ間の距離が長い場合は、画質の劣化や画像の消失を避けるため、低損失ケーブルを推奨します。

DVIポートが選択されているのにDVIソースが表示されない場合:

- menu**を押して、**セットアップ > DVIの互換性**の順に選択し、**標準DVI**を選択します。

画像設定のいくつかが完全に間違っているようにみえるがこれを修正できない場合:

- **menu**を押して、**画像 > カラー設定 > カラー設定のリセット**の順に選択し、**ok**を押します。
- **menu**を押して、**セットアップ > すべての設定のリセット**の順に選択し、**ok**を押します。

コンピュータ接続で、表示画像がスクロールしたり切れたりする場合:

- **menu**を押して、**画像 > VGA設定 > 自動同期**の順に選択し、**ok**を押します。
- すべてのデバイスの電源をオフにします。その後、まずプロジェクタの電源をオンにし、次にノートブックまたはデスクトップコンピュータの電源をオンにします。
- 上記の手順で表示画像が直らなかった場合、ノートブックまたはデスクトップコンピュータの解像度を1024×768ピクセルに調整します。コンピュータでマルチモニタに設定している場合は、プロジェクタ用のモニタの解像度を調整します。

コンピュータ接続で画像が点滅したり不安定になったりする場合:

- **menu**を押して、**画像 > VGA設定 > 自動同期**の順に選択し、**ok**を押します。
- **menu**を押して、**画像 > VGA設定**の順に選択し、**周波数**または**トラッキング**を調整します。

コンピュータ画面から画像が消える場合:

- ノートブックコンピュータでは、外部VGAポートと内蔵画面の両方をオンにできる場合があります。コンピュータのマニュアルを参照してください。

コンピュータ画面からの文字列や行が乱れたり、揃っていない場合:

- フォーカスの調整を確認します。
- **menu**を押して、**画像 > 形の設定 > キーストーンのリセット**の順に選択し、**ok**を押します。

コンピュータ画面が低解像度で投影されている場合:

- **menu**を押して、**セットアップ > DVIの互換性**の順に選択し、**VGAのみ**を選択します。この設定は標準DVI機器には適用できないのでご注意ください。

サウンドの問題

プロジェクタから音がまったく出ない場合:

- プロジェクタとソース機器がオーディオケーブルで確実に接続されていることを確認します。
- **menu**を押して、**サウンド**を選択し、**ミュート**がオフで、**音量**が正しいことを確認します。

- **menu**を押して、**サウンド > 内蔵スピーカ**の順に選択し、スピーカがオンになっていることを確認します。
- **menu**を押して、**ヘルプ > 診断テスト**の順に選択し、サウンドテストを実行します。
- ビデオデッキ、ビデオカメラ、コンピュータなどのソース機器のミュートや音量の設定が正しいことを確認します。

外部サウンドシステムから音がまったく出ない場合:

- ソース機器とサウンドシステムがオーディオケーブルで確実に接続されていることを確認します。

停止の問題

プロジェクタがすべての操作に応答しない場合:

- 可能な場合は、プロジェクタの電源をオフにし、電源コードを外します。15 秒以上経過したら電源コードを接続して電源をオンにします。

ショーの間にランプが消える場合:

- 小さな電源サーボのためにランプが消える場合があります。これは正常な動作です。数分ほど待ってからプロジェクタをオンにしてください。
- 赤い警告ライトが点灯または点滅している場合は、57 ページの「警告ライトの問題」を参照してください。

ランプが切れるか、破裂音がする場合:

- ランプが切れて破裂音が聞こえた場合、ランプモジュールを交換するまでプロジェクタの電源は入りません。
- ランプが割れているとガラス破片の処理が必要になる場合があるため、修理についてHPまでお問い合わせください。

リモコンの問題

リモコンが動作しない場合:

- プロジェクタの前面または背面にあるリモコンの受光部が何かで覆われていないことを確認します。プロジェクタから9 m以内の距離に近づいてください。
- リモコンをスクリーンまたはプロジェクタの前面または背面に向けます。
- **menu**を押して、**ヘルプ > 診断テスト**の順に選択し、リモコンのテストを実行します。
- リモコンの電池を交換します。

プロジェクトのテスト

オンラインメニューにある診断テストを使って、プロジェクトとリモコンの動作が正しいかどうかを検証できます。

1. **menu**を押して、**ヘルプ > 診断テスト**の順に選択します。
2. テストを選択し、**ok**を押します。
3. 画面に表示される指示にしたがいます。

サポートと保証

サポート

HPサポートへのお問い合わせ

HPはHPデジタルプロジェクタに関する使用方法およびトラブル解決についてのテクニカルサポートを提供しています。ご利用になれるサポートは、製品・国・地域・言語によって異なります。HPサポートは、以下の順序でご利用いただくと最も効果的です。

ステップ1: HPデジタルプロジェクタのマニュアル

プロジェクタに同梱のユーザーズマニュアルとセットアップガイドです。過去にお客様からご報告いただいたトラブルの多くは、このマニュアルに対処方法が記載されています。これらのマニュアルは主な言語に対応しており、プロジェクタに同梱のCDに収録されています。

ステップ2: HPオンラインサポート

HPオンラインサポートでは、サポート情報・お役立ち情報・最新アップデート情報を24時間いつでも無料でご利用いただけます。このサービスはインターネット上のWebサイト <http://www.hp.com/support> にアクセスしてご利用ください。

ステップ3: HP電話サポート

HP電話サポートは、本デジタルプロジェクタの所有者に限り、無料でご利用いただけます（電話料金はお客様の負担になります）。電話サポートはHPによりHP製品が販売される国または地域ならどこでもご利用いただけます。HPオンラインサポートはいつでも無料でご利用いただけます（上記「ステップ2: HPオンラインサポート」をご参照ください）。

電話番号一覧については以下の表を参照してください。最新の電話番号については、<http://www.hp.com/support> をご覧ください。お電話の際は、プロジェクタのモデルとシリアル番号をご用意ください。

アメリカ

アルゼンチン(ブエノスアイレス):
(54) 11-4778-8380
アルゼンチン(その他の地域): 0-810-555-5520
ブラジル(サンパウロ): 11-3747-7799
ブラジル(その他の地域): 0800-15-7751
カナダ(Missauga): 905-206-4663
カナダ(その他の地域): 1-800-474-6836
チリ: 800-360-999
コロンビア: 01-800-51-HP-INVENT
コスタリカ: 0-800-011-4114 + 1-800-711-2884
エクアドル(Andinatel): 999-119 +
1-800-711-2884
エクアドル(Pacifitel): 1-800-225-528 +
1-800-711-2884
ガテマラ: 1-800-999-5105
メキシコ(メキシコシティ): (55) 5258-9922
メキシコ(その他の地域): 01-800-472-6684
パナマ: 001-800-711-2884
ペルー: 0-800-10111
ベネズエラ: 0-800-4746-8368
ジャマイカ: 1-800-7112884
ドミニカ共和国: 1-800-711-2884
トリニダード・トバゴ: 1-800-711-2884
米国: 1-800-474-6836
ヨーロッパ
オーストリア: +43 (0) 820 87 4417
ベルギー(フランス語): 070 300 004
ベルギー(ドイツ語): 070 300 005
チェコ共和国: +42 (0) 2 61307310
デンマーク: +45 70202845
フィンランド: +358 (0) 203 66 767
フランス: +33 (0) 892 6960 22
ドイツ: +49 (0) 180 5652 180
ギリシャ: +30 10 6073 603
ハンガリー: +36 (0) 1 382 1111
アイルランド: 1890 923902
イタリア: 848 800 871
ルクセンブルグ(フランス語): 900 40 006
ルクセンブルグ(ドイツ語): 900 40 007
オランダ: 0900 2020 165
ノルウェー: +47 815 62 070
ポーランド: +48 22 865 98 00

ポルトガル: 808 201 492

ルーマニア: +40 1 315 44 42

ロシア連邦(モスクワ): +7 095 7973520
ロシア連邦(サンクトペテルブルグ): +7 812 346
7997

スロバキア: +421 2 6820 8080

スペイン: 902 010 059

スウェーデン: +46 (0) 77 120 4765

スイス: 0848 672 672

ウクライナ: +7 (380 44) 490-3520

英国: +44 (0) 870 010 4320

中東/アフリカ

アルジェリア: +213 (0) 61 56 45 43

バーレーン: +973 800 728

エジプト: +20 02 532 5222

イスラエル: +972 (0) 9 830 4848

モロッコ: +212 224 04747

ナイジェリア: +234 1 3204 999

サウジアラビア: +966 800 897 14440

南アフリカ(南アフリカ共和国): 086 000 1030

南アフリカ(その他の地域): +27-11 258 9301

チュニジア: +216 1 891 222

トルコ: +90 216 579 7171

アラブ首長国連邦: 800 4910

アジアおよびオーストラリア

オーストラリア: +61 (3) 8877 8000

(国内) (03) 8877 8000

中国: +86 (21) 3881 4518

香港SAR: +852 2802 4098

インド: 1 600 447737

インドネシア: +62 (21) 350 3408

日本(国内): 0570 000 511

日本(国外): +81 3 3335 9800

韓国: +82 1588-3003

マレーシア: 1 800 805 405

ニュージーランド: +64 (9) 356 6640

フィリピン: +63 (2) 867 3551

シンガポール: +65 6272 5300

台湾: +886 0 800 010055

タイ: +66 - (0) 2 353 9000

ベトナム: +84 (0) 8 823 4530

HP修理サービスのお問い合わせ

ご使用のデジタルプロジェクタの修理が必要と判断された場合、HPサポートまでお電話でお問い合わせください。経験豊かなHPサービス技術者がトラブルを診断し、修理の受付を承り、お客様に最適なソリューションとして、HP正規サービスプロバイダまたはHPサービスセンターのどちらかをご案内いたします。保証期間中に限り、保証範囲内の修理は無料となります。保証期間終了後の有料修理については、修理料金の見積もりをさせていただきます。

限定保証

弊社ではお客様にHPデジタルプロジェクタを最大限ご活用いただけるように、最良のサービスを提供することを努めています。この限定保証条項にはデジタルプロジェクタの標準保証が記載されています。

製品名	保証期間
HPデジタルプロジェクタ、保証期間は背面ラベルに記載 (この表に記載の項目は除く)。	保証年数はラベルに記載、例: 1YR = 1年、3YR = 3年 部品および修理限定保証
HPデジタルプロジェクタ ランプモジュール (プロジェクタの付属品または別売品)	1年または2000使用時間 (短いほうの期間) ハードウェア限定保証
HPデジタルプロジェクタケーブル、リモコン、その他の部品 (プロジェクタの付属品)	プロジェクタと同じ期間 ハードウェア限定保証
HPデジタルプロジェクタケーブル、コード、アダプタ、リモコン (別売品)	1年 ハードウェア限定保証

HPデジタルプロジェクタ限定保証条項

限定保証の範囲

1. Hewlett-Packard (以下 HP) は、エンドユーザーであるお客様に、弊社製品が上記に定められた期間内に、材質または品質上の瑕疵がないことを保証いたします。この期間は、お客様に本製品をご購入いただいた日から開始されます。本製品の購入日の証明となる書類は必ず保管しておいてください。
2. ソフトウェア製品については、このHP限定保証はプログラミング命令の実行エラーにのみ適用されます。弊社は、HP製品の稼働中に中断や障害がまったく発生しないという保証はいたしません。

3. HP限定保証は、本製品の適切な使用の結果生じた瑕疵のみを対象としており、以下のような場合は適用されません。
 - 不適切なメンテナンスまたは無許可の改造
 - 弊社が提供またはサポートしていないソフトウェア、インターフェース、メディア、パーツ、サプライ品
 - 製品の仕様範囲外の操作
4. 万が一、保証期間内にHP保証の対象となるハードウェア製品に瑕疵の報告を受けた場合、弊社は弊社の判断により瑕疵と認められた製品を修理もしくは交換します。
5. 弊社が、瑕疵の報告を受けてから適切な期間内に、保証対象である当該製品の修理・交換を行えなかった場合は、お客様から製品が返品された時点で、購入代金を全額返金いたします。
6. 弊社には、お客様が瑕疵のある製品を弊社に返送されるまで、修理、交換、返金に応じる義務はないものとします。
7. 交換後の製品は、新品または新品と同様で、交換前の製品と同等の性能を持つものとします。
8. 弊社製品には、新品と等しい性能を持つ再生部品またはコンポーネント、または前に付隨的に使用された部品が含まれている場合があります。
9. HP限定保証は、保証対象の弊社製品が弊社によって販売されているあらゆる国または地域で有効です。

保証の制限

国、地域の法律で認められる範囲内において、弊社またはその供給元の第三者は、本HP製品に関して、上記以外の保証またはあらゆる種類の条件も、明示的または黙示的保証に限らず、一切いたしません。特に、HPは市場性、品質および特定用途に対する適合性についての黙示的保証または条件の責任を負いません。

責任の制限

1. 国、地域の法律で認められる範囲内において、上記の保証以外に、弊社は一切の責任を負いません。
2. 国、地域の法律で認められる範囲内において、本保証条項で特別に規定された義務を除き、弊社またはその供給元である第三者は、直接的、間接的、特殊、付隨的、派生的損害に関して、契約、不法行為、その他の法的制約のいかんにかかわらず、一切の責任を負いません。たとえ、このような損害の可能性について知らされていた場合でも同様です。

準拠法

1. 本保証は、お客様の特定の法的権利に関するもので、国、地域によって規定が異なる場合があります。
2. 本保証条項が国または地域の法律と矛盾する場合、これらの法律と合致させるため、本保証条項に修正を加えるものとします。このような法律では、本保証条項における特定の免責事項と制限によっては、お客様に適用されない場合があります。例えば、米国内の州によっては、海外の国と同様に（カナダの州を含む）、次のような場合があります。
 - 本保証条項の免責事項と制限は、消費者の法規上の権利の制限から除外される（例：イギリスなど）。
 - さもなければ、このような免責事項または制限事項を強制する製造元の権利を制限する。
 - お客様に追加の保証権利を付与し、製造元が放棄できない默示的保証の期間を明記する、または、黙示的保証期間の制限を認めない。
3. オーストラリアおよびニュージーランドでご購入の場合: 本条項の保証条件は、法律が許容する場合を除き、本HP製品のお客様への販売に適用される強制法規上の権利を排除し、制限し、修正し、追加するものではありません。

参考情報

この章には、プロジェクタの仕様、安全情報、規制情報を記載します。

仕様

HPでは常に製品の改良に努めており、以下の仕様は変更される可能性があります。最新の仕様については、HP Webサイト <http://www.hp.com/jp> をご覧ください。

プロジェクタの仕様

サイズ	386 × 365 × 205 mm
重量	5.7 kg
解像度	ep7110シリーズ: SVGA (800 × 600) ep7120シリーズ: XGA (1024 × 768)
投影方式	DLP
ビデオコネクタ	Sビデオ (mini-DIN) コンポジットビデオ (RCA) コンポーネントビデオ (RCA × 3) DVI-I (ep7120シリーズ)
オーディオコネクタ	ステレオ入力 (RCA×2)
その他のコネクタ	サービスポート (修理サービス専用) RS-232コントロール (ep7120シリーズ)
ビデオの互換性	NTSC 3.58 MHzおよび4.43 MHz PAL B, D, G, H, I, M, N SECAM B, D, G, K, K1, L HDTV (480i/p, 575i/p, 720p, 1080i) HDCP付きDVI (ep7120シリーズ) 最大SXGA対応PCビデオ (ep7120シリーズ、DVI-Iコネクタによる)

プロジェクタの仕様 (続き)

赤外線受光部	プロジェクタの前面および背面
ランプ	<p>210ワットランプ ランプ平均寿命 (元の輝度の半分まで) は4000時間 交換用ランプ: L1731A</p>
光学	<p>焦点距離 1~10m 1.16:1 光学ズーム ep7110シリーズ: 投影比 1.7~2.0 (距離/幅) 128% オフセット (半分の高さに対応) ep7120シリーズ: 投影比 1.8~2.1 (距離/幅) 125% オフセット (半分の高さに対応)</p>
ライトエンジン	ep7110シリーズ: 0.55インチ。12° DDR DMD ep7120シリーズ: 0.7インチ。12° DDR DMD
オーディオ	モノオーラルスピーカ、ピーク出力5ワット
騒音レベル	34dBA未満
垂直角度調整	±10°
垂直キーストーン補正	±20%
電源	100~240 V、50~60 Hz
環境	<p>稼動時: 温度: 5 ~ 35°C 湿度: 相対湿度 最大80%、結露がないこと 高度: 3,000m、25°Cまで</p> <p>保管時: 温度: -20 ~ 60°C 湿度: 相対湿度 最大80%、結露がないこと 高度: 12,000 mまで</p>

ビデオモードの互換性

互換性	解像度	リフレッシュレート (Hz)
アナログ		
VGA	640 × 350	70, 85
	640 × 400	85
	640 × 480	60, 66.66, 66.68, 72, 75, 85, 117, 120
	720 × 400	70, 85
SVGA	800 × 600	56, 60, 72, 75, 85, 95
	832 × 624	74.55
XGA	1024 × 768	60, 70, 75, 85, 95
	1152 × 870	75, 75.06
	1280 × 960	75
SXGA	1280 × 1024	60, 75
SXGA+	1400 × 1050	60
デジタル		
VGA	640 × 350	70, 85
	640 × 400	85
	640 × 480	60, 72, 75, 85
	720 × 400	70, 85
SVGA	800 × 600	56, 60, 72, 75, 85
XGA	1024 × 768	60, 70, 75
SXGA	1280 × 1024	60, 75
SXGA+	1400 × 1050	60

安全情報

LEDの安全性

デジタルプロジェクタとリモコンの赤外線ポートは、国際標準IEC 825-1 (EN60825-1)に基づいて、クラス1 LED機器に分類されています。この機器は無害とされていますが、以下の注意事項を守ることを推奨します。

- 機器の修理が必要な場合は、HPの正規サービスセンターにご依頼ください。
- 機器の調整はいっさい行わないでください。
- LEDの光線を目にして直接当てるることは避けてください。光線は目に見えないので注意してください。
- 何らかの光学機器を通して赤外線LEDの光線を見ることは避けてください。

水銀の安全性



警告: このデジタルプロジェクタのランプには、少量の水銀が含まれています。万一、ランプが破損した場合は、破損が起きた部屋を十分に換気してください。ランプの廃棄は、環境汚染防止のために法律で規制されている可能性があります。廃棄またはリサイクルの方法については、各自治体または電子工業会 <http://www.eiae.org> にお問い合わせください。

規制情報

この項には、一部地域の規制にデジタルプロジェクタがどのように適合するかを記載します。HPの明示的な承認なしにデジタルプロジェクタを改変した場合、これらの地域でデジタルプロジェクタを使用する権利がなくなるおそれがあります。

Japan

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると受信障害を引き起こすことがあります。

取り扱い説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

製品には、同梱された電源コードをお使い下さい。
同梱された電源コードは、他の製品では使用出来ません。

国際

規制に関する識別のため、製品には規制モデル番号が付与されています。お使いの製品の規制モデル番号は、「declaration of conformity」に記載されています。この規制番号は、販売上の名称や製品番号とは異なります。

Declaration of conformity

According to ISO/IEC Guide 22 and EN 45014

Manufacturer's name: Hewlett Packard Company
Manufacturer's address: Hewlett Packard Company
 Digital Projection & Imaging
 1000 NE Circle Blvd.
 Corvallis, OR 97330-4239

Declares, that the product (s) :

Product name: Home Cinema
Model numbers: ep7110/ep7120 series
Regulatory model: CRVSB-04DY
Conforms to the following product specifications:
Safety: IEC 60950:1999/ EN 60950:2000

IEC 60825-1:1993 +A1 / EN 60825-1:1994 +A11 Class 1 LED

GB4943-1995

EMC: EN 55022: 1998 Class B [1]

CISPR 24:1997 / EN 55024: 1998

IEC 61000-3-2:1995 / EN 61000-3-2:2000

IEC 61000-3-3:1994 / EN 61000-3-3:1995+A1:2001

GB9254-1998

FCC Title 47 CFR, Part 15 Class B/ANSI C63.4:1992

AS/NZS 3548:1995 Rules and Regulations of Class B

Supplementary information:

The product herewith complies with the requirements of following Directives and carries the CE marking accordingly:

- Low Voltage Directive: 73/23/EEC
- EMC Directive: 89/336/EEC

[1] The product was tested in a typical configuration with Hewlett Packard Personal Computer peripherals.

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Corvallis, Oregon, July 1, 2004



Steve Brown, General Manager

European Contact for regulatory topics only: Hewlett Packard GmbH, HQ-TRE, Herrenberger Stra?e 140, 71034 Boeblingen, Germany. (FAX:+49-7031-143143).

USA Contact: Hewlett Packard Co., Corporate Product Regulations Manager, 3000 Hanover Street, Palo Alto, CA 94304. Phone: (650) 857-1501.

索引

D

- DVDプレーヤ、外付けの使用 35
- DVIビデオ
 - コンピュータの接続 27
 - ソースの接続 23
 - ポート 12

H

- HPサポート 65

L

- LEDの安全性 74

P

- PC、接続 27

R

- RS-232 48

S

- SCART 24
- Sビデオ
 - ソースの接続 21
 - ポート 12

V

- VGA、接続 27

Y

- YPbPr。コンポーネントビデオを参照
- あ
 - アクセサリ 14
 - アナログビデオモードの互換性 73
 - 安全情報 7, 74

オーディオ

- 接続 25
- 調整 34, 37
- トラブルシューティング 61
- ポート 12

オンスクリーンメニュー

- 言語 41
- 使用方法 38
- リスト 38

音量、調整

か

- 画像
 - 画像モード 32
 - 形 33
 - 焦点 31
 - ズーム 31
 - トラブルシューティング 58
 - 品質 15, 19, 60
 - ゆがみの修正 34
- 画像の品質 19, 60
- 画像モード 32

画像。画像を参照

- 規制情報 74
- クリーニング 7, 43

警告ライト

- 意味 57
- 設置場所 11
- トラブルシューティング 57
- ケーブル
- 接続 19

長さ 15

品質 15

言語、変更 38

交換、ランプ 44

コンピュータ、接続 27

コンポーネントビデオ

ソースの接続 20

ポート 12

コンポジットビデオ

ソースの接続 22

ポート 12

さ

サービス 67

サウンド。オーディオを参照

サポート 65

室内のレイアウト 15

修理サービス 67

仕様 71

焦点 31

シリアルポート 12, 48

診断 63

水銀の安全性 74

ズーム 31

スクリーン

設置場所 17

選択 15

接続

DVIソース 23

SCARTソース 24

Sビデオソース 21

オーディオソース 25

画像の品質 15, 19, 60

コンピュータ 27

コンポーネントビデオソース 20

コンポジットビデオソース 22

サウンドシステム 25

電源 18

セットアップ 15

た

調整

画像 32, 37

サウンド 34, 37

セットアップ 38

電源

オフにする 29

オンにする 28

接続 18

電源のオン/オフ 28

天井設置 47

トラブルシューティング

オーディオ 61

画像 58

警告ライト 57

始動 58

停止 62

リモコン 62

は

ビデオソース

選択 30

表示 35

ビデオモードの互換性 73

プロジェクタの移動 29

プロジェクタの投影位置の調整 30

ホームシアター 15

保証 67

ボタン

設置場所 11

メニューを開く 38

ま

メニュー。オンスクリーンメニュー
を参照

ら

ライト。ランプの警告ライトを参照

ランプ、交換 44

リモコン

-
- 電池の取付け 45
 - トラブルシューティング 62
 - ボタン 13
 - メニューを開く 38
 - ルームコントローラ 48
 - レンズ
 - クリーニング 43



i n v e n t

© 2004 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

Printed in China

www.hp.com



5990-3695

水銀の安全性

警告: このデジタルプロジェクタのランプには、少量の水銀が含まれています。万一、ランプが破損した場合は、その部屋の換気を十分に行い、近くにあった飲食物をすべて捨てて、プロジェクタ周辺の家具やテーブルの上を十分に掃除してください。部屋を掃除したり、破損したランプを処理した後は手を洗ってください。ランプの廃棄は、環境汚染防止のために法律で規制されている場合があります。廃棄またはリサイクルの方法については、各自治体または廃棄物処理業者にお問い合わせください。ランプの安全性に関する情報については、
www.hp.com/hpinfo/globalcitizenship/environment/productdata を参照してください。